

番号	箇所名	重点
13	都田	○
14	御殿場かがやき	
15	三ヶ日中部	
16	三ヶ日北部	
17	尾羽	
18	今宮・神戸	
19	奥浜名湖	
20	足柄	○
21	天方三倉	
22	屋島川	○

## 農地局 事後評価実施箇所 位置図

事後評価件数:10件

足柄

御殿場かがやき

尾羽

今宮・神戸

天方三倉

都田

三ヶ日北部

奥浜名湖

三ヶ日中部

屋島川

重点説明箇所

その他箇所

平成27年度 公共事業事後評価(農業農村整備事業)

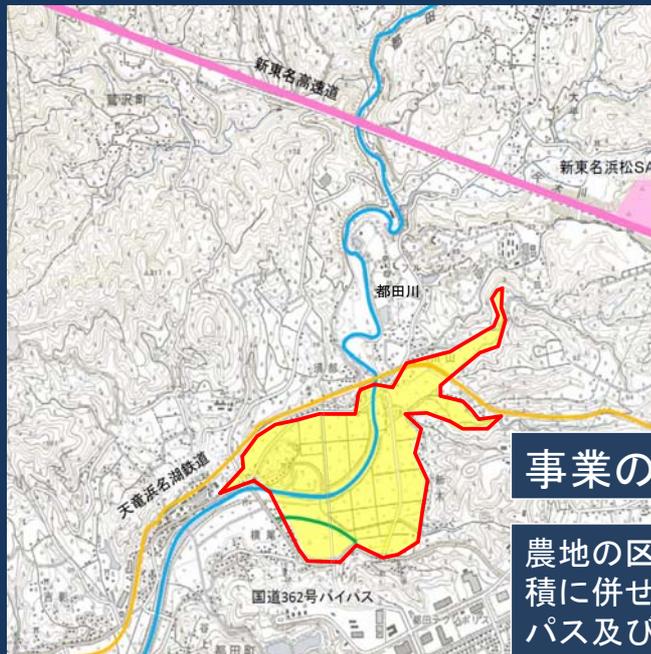
地域開発関連整備事業  
(土地利用秩序形成型)

都田地区

交通基盤部 農地局 農地整備課

# 1 位置図／事業概要／事業の目的・必要性

## 位置図



## 事業概要

施工箇所：浜松市北区都田町  
受益面積：59ha  
工期：平成7年度～平成21年度  
事業費：2,060百万円  
事業内容：

区画整理工	59ha
農道整備	8,010m
用水路工	7,295m
排水路工	8,214m

## 事業の目的・必要性

農地の区画整理による農地の生産性向上と利用集積に併せ、換地によって河川改修や国道362号バイパス及び市道の整備に必要な公共用地を生み出し、土地利用の秩序を実現する。

## 2 事業の効果等

### 食料安定供給確保効果

(作物生産・品質向上・営農経費節減・維持管理費節減・走行経費節減)

▶ 総便益:36.00億円

### 農村振興効果

(地籍確定・非農用地等創設)

▶ 総便益: 0.78億円

### 総費用総便益比

**B/C=1.05**

総便益(B) 36.78億円  
総費用(C) 34.88億円

## 2 事業の効果等

作物生産効果

営農経費節減効果

乗用型田植機



水田用給水栓

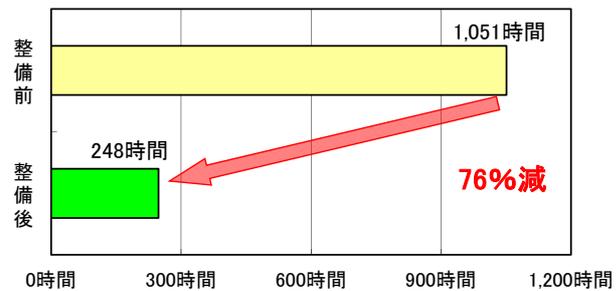


乗用型コンバイン



乾田化・大区画化により、  
大型機械の導入が可能に

水稻1ha当たりの作業時間の短縮

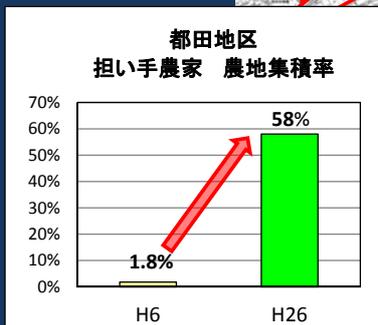
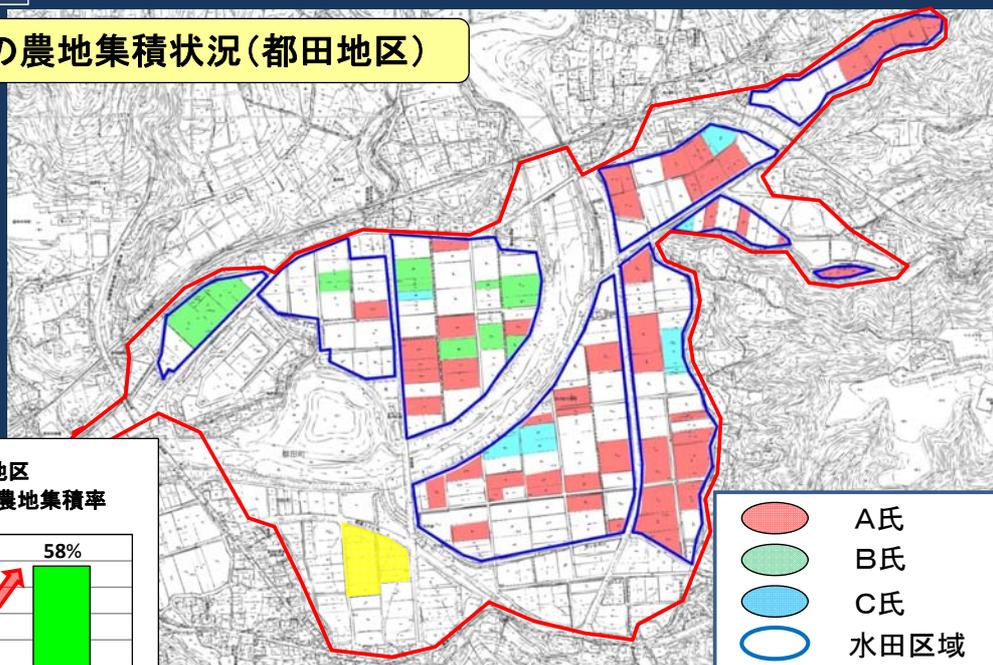


水稻の主な作業  
施肥、代掻、田植、除草、防除、追肥、  
稲刈脱穀、運搬

## 3 事業実施による環境の変化

生産力の強化

担い手への農地集積状況(都田地区)



- A氏
- B氏
- C氏
- 水田区域
- 観光農園

## 4 事業実施による環境の変化

### 農村生活環境

事業前



蛇行した河川の氾濫

事業後



河川改修と道路改修

親水公園



休憩施設の整備

ヒメボタル



生物の保護活動実施

河川改修による洪水被害の防止

道路改修及び新東名高速道路の開通による本地区と周辺地域のアクセス向上

## 5 社会経済情勢等の変化

### 地域社会の動向

国道362号バイパスの整備



都市との往来が楽に



一社一村しずおか運動による  
農地保全活動



企業と地元の協働活動開始

### 地域経済の動向

酒米への取組み



多岐にわたる品種の栽培

ピオーネの直売



観光農園がオープン

## 6 対応方針（案）

### 評価結果

区画整理、用水路のパイプライン化が実施されたことにより、担い手農家への農地集積が進んだ。また、土地改良区が離農希望のある農地を担い手へ斡旋することにより、耕作放棄地は発生していない。

**事業効果は十分に発現しており、改善措置の必要はない。**

### 今後の課題等

産地の競争力強化に向け、農地中間管理機構等を活用した更なる農地集積を行い、営農コストを縮減する必要がある。

担い手農家のみでは、ほ場や周辺環境の維持管理が困難なため、ふじのくに美農里プロジェクトなどの共同活動による農地保全や周辺環境の保全活動を継続していく必要がある。

本地域周辺には、新東名高速道路のスマートインターやフルーツパークなどの観光資源があるため、都市部との交流を積極的に行い更なる農村の活性化を図る必要がある。

### 同種事業への反映等

本事業において区画整理や用排水路の分離が行われ、意欲ある担い手農家への農地集積が進んでいる。今後、同種事業においても、地区の担い手農家、関係機関等とともに事業内容を協議し、地域の特色を踏まえつつ、担い手農家への農地集積を推進する。

換地により公共事業等の用地を創設する事業手法は、農業振興と秩序ある土地利用の両立が可能となり地域の生活環境の向上につながるため、今後、同種事業においても地域の状況を踏まえつつ実施する。